

ナワゴケ科

キノクニキヌタゴケ

Palisadula chrysophylla (Card.) Toyama

兵庫県ランク… C

環境省ランク… ー

■ 県内分布

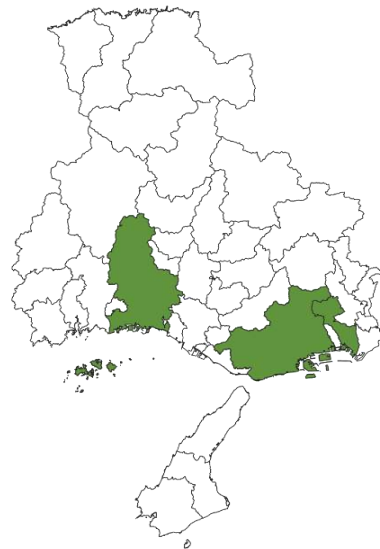
神戸市、西宮市、姫路市

■ 国内分布

本州、四国、九州、琉球諸島

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

ー

■ 保護上の留意点

ー

■ 種の概要

カトウゴケに似て、小型、二次茎は短く立ち上がり、長さ2-5mm。密集した背の低いクッションをつくる。茎葉は披針形で、長さ0.9-1.6mm、葉先は長く漸尖する。葉縁の上部には細かい歯がある。中肋は短くて2又するか、不明瞭。葉身細胞は狭六角形、厚壁でくびれがあるが特徴。翼部は少数の方形の細胞で構成され、狭いが明瞭に分化する。蒴柄は長さ8-11mm、蒴は卵形、外蒴歯表面はカトウゴケ同様に垣根状となる。孢子は直径26-36μm。樹上、岩上に生育する。